

2015 年度業績一覧

2015.4 ～ 2016.3

井上智史（助教）

【論文】

井上智史. 平面作品分析のためのデジタル画像における色情報の利用について. メディアと情報資源. 2015, Vol.22, No.1, p.17-26.

井上智史. アプリケーションを利用した色彩に関する課題の可能性. メディアと情報資源. 2015, Vol.22, No.2, p.67-74.

【学会発表】

安藤公彦、井上智史、宮坂秋津、稲葉竹俊. リフレクション支援装置による作品展示の実践と評価. 情報処理学会第 78 回全国大会. 慶応義塾大学. 2016-03-12.

【講演】

井上智史. 学校における情報. 2015 年度学校事務職員向研修講座（情報分野）. 駿河台大学. 2015-01-09.

【研究テーマ】

グラフィックデザイン、デザイン教育、e ラーニング、コンピュータアート

今村庸一（教授）

【研究テーマ】

映像ジャーナリズム論、映像と国際関係論

大久保恒治（准教授）

【研究テーマ】

地域における情報資源の時間的・空間的側面を考慮したデジタルアーカイブ化とその活用、東日本大震災ビッグデータプロジェクト、文化情報資源の可視化

大久保博樹（教授）

【論文】

大久保博樹. 映画の物語における音響効果. 情報文化学研究 第 6 号 情報文化学会連合研究会. 2015, p.1-8.

効果音における「音の演技」の概念とその実践的展開への一考察—効果音の情報環境— 情報文化学会講演予稿集. 2015, p.55-58.

音響効果技師の擬音のマイグレーションと課題—効果音制作の現場への再考— メディアと情報資源.
2015, Vol.22, No.1, p.27-34

【著書】

高橋克典, 高橋悟, 石坂要一, 大久保博樹, 村尾英俊, 福地順子. “平成28年版 パーフェクト行政書士 過去問題集”. 住宅新報社. 2016, p.314-320, p.398-401, p.479-487, p.568-574, p.651-656 (分担執筆). ISBN978-4-7892-3767-3

【学会発表】

大久保博樹. 効果音の制作過程の差異による視聴者反応と評価情報文化学会 第14回関東支部研究会情報文化学会関東支部研究会. 立正大学 品川キャンパス (大崎校舎), 2016-03-12.

大久保博樹. 効果音における「音の演技」の概念とその実践的展開への一考察 —効果音の情報環境— 情報文化学会 第23回全国大会 情報文化学会. 東京大学 山上会館, 2015-10-10.

大久保博樹. 擬音制作用小道具と効果音のデジタル化による保全の意義と今後の課題 情報文化学会 第13回 関東支部研究会情報文化学会 関東支部研究会. 立正大学 品川キャンパス (大崎校舎), 2015-07-12.

【雑誌記事】

高橋克典, 高橋悟, 石坂要一, 大久保博樹, 村尾英俊, 福地順子. 不動産受験新報 2015年春号 (季刊), “特集平成26年度行政書士試験詳細分析”. 住宅新報社. 2015年4月1日. p.90-91.

【研究テーマ】

音響演出、映像と音響のマルチモーダル、デジタルコンテンツとIT (教育と利活用)

岡部健次 (教授)

【研究テーマ】

表計算ソフトの高次利用の研究、鉄道走行を利用するリニア発電の研究

城井光広 (教授)

【その他】

第40回ゆうちょアイデア貯金箱コンクール第一次、第二次審査員. ゆうちょ銀行. 2015-10.

光であそぼう! わくわく研究所 池袋サンシャインシティ文化会館. 作品6点展示. 2015-12 ~ 2016-1.

【研究テーマ】

グラフィックデザイン、オブジェ制作、アニメーション制作

金基弘（准教授）

【論文】

金基弘. “ゲームコンテンツの「音」”. 韓国コンテンツ学会誌, 2015, vol.13, No.2, p.41-46.

【著書】

金基弘他多数. “音響キーワードブック—DVD 付き—（日本音響学会創立 80 周年記念出版）”. 日本音響学会編. コロナ社, 2016, p.22-23.

【学会発表】

金基弘, 高田正幸, 岩宮眞一郎. “車両用アンサーバック音のデザインに関する一考察”. 日本音響学会 2015 年秋季研究発表会講演論文集, 会津大学, 2015, CD-ROM.

高田正幸, 鈴木聡司, 金基弘, 申鍾賢, 岩宮眞一郎. “韓国における自動車の警笛に関する調査研究”. 日本音響学会 2015 年秋季研究発表会講演論文集, 会津大学, 2015, CD-ROM.

金基弘, 久保美紀子, 岩宮眞一郎. “笑いを演出する映像に付加するシンボリックな音楽の最適な挿入タイミング”. 日本音響学会音楽音響研究会資料, 九州大学大橋キャンパス, 2015, vol.34, No.3, p.19-24.

金基弘, 久保美紀子, 岩宮眞一郎. “笑いを誘発する映像に付加するシンボリックな音楽挿入の最適タイミング”. 2015 年度韓国音響学会春季学術発表大会論文集, 釜慶大学校龍塘キャンパス（韓国）, 2015, Flash Drive.

【招待講演】

金基弘. “これからの音響学としてのサウンドデザイン”. 釜慶大学校自然科学大学招聘セミナー, 釜慶大学校龍塘キャンパス（韓国）, 2015.

【研究テーマ】

音と映像の相互作用、音の主観評価、サウンドスケープ、サイン音、聴能形成

國本千裕（専任講師）

【論文】

Naho Tani, Mariko Takeuchi, Yoriko Ikejiri, Rie Marumo, and Michiko Shoji, Chihiro Kunimoto, Yuji Shirakawa and Hiroya Takeuchi. Students' behavior in library-based learning commons: the results of focus group interviews at Chiba University. The 6th international conference on Asia-Pacific Library and Information Education and Practice, Manila, Philippines. 2015-11-28/30

酒井由紀子, 國本千裕, 倉田敬子. 日本における健康医学情報の探索行動: 2008 年および 2013 年調査の結果. 日本図書館情報学会誌, Vol61, No.2. p.82-95.

國本千裕. 「レイ・エキスパート」研究に向けての論点整理. メディアと情報資源. 2015, Vol.21, No.2, p.43-47.

【講演】

國本千裕. アクティブラーニングとは何か? : 教育と学習の2つの文脈から. 岡山県大学図書館員研修会, 就実大学・就実短期大学図書館. 2015-12-19.

國本千裕. サービス改善のための対話: 問いの立て方とインタビュー法. 平成26年度図書系職員研修, 京都大学. 2015-10-30.

國本千裕. アクティブラーニングに大学図書館はどう関わるか? : 学習行動調査から見たもの. LI-MEDIO Seminar 2015, 東京. 2015-07-29 & 大阪. 2015-08-06.

國本千裕. 「からだ・病気・くすり」について調べる. 市民の大学Ⅰ: 情報の探し方, 駿河台大学. 2015-05-16.

【研究テーマ】

レイ・エキスパート (素人知) 大学生の学習・情報利用行動 患者の医学医療情報探索

斎賀和彦 (教授)

【講演】

斎賀和彦. 一眼ムービーユーザーのためのガンマイクセミナー SHURE Japan. 2015-05-08.

斎賀和彦. 撮影現場から編集まで。ストレージ運用のTPO. AfterNAB2015. 2015-05-22.

斎賀和彦. 子ども大学 飯能 ワークショップ講師 駿河台大学. 2015-08-01.

斎賀和彦. 映像と地域の新しい関係 彩・ふるさと喜樂学. 駿河台大学. 2015-10-03.

斎賀和彦. データを守る、編集する、一眼レフとハードディスク セミナー CP+ 2016. 2016-2-26/27.

斎賀和彦. 撮影から編集までのストレージワークフロー セミナー CP+ 2016. 2016-2-25/27.

【雑誌記事】

斎賀和彦. 趣味の窓「iPhone 6s で撮影して、編集する (前編)」ビデオ SALON. 玄光社. 2016, 3月号

斎賀和彦. 趣味の窓「iPhone 6s で撮影して、編集する (後編)」ビデオ SALON. 玄光社. 2016, 4月号

【研究テーマ】

デジタル映像制作のワークフロー

杉江典子（教授）

【論文】

Noriko Sugie. Probability Density Estimation of Public Library Users' Visiting Points Using Location Information. Media and Information Resources. 2015, vol.22, no.1, p.1-8.

【学会発表】

杉江典子. “館内位置情報を用いた利用者集団の識別：移動経路の類似度を用いた利用者のクラスタリング”. 2015 年度日本図書館情報学会春季研究集会, 京都ノートルダム女子大学. 2015-05-30. 『2015 年度日本図書館情報学会春季研究集会発表論文集』 p.37-40.

【研究テーマ】

公共図書館におけるレファレンスサービス、公共図書館における利用者の情報探索行動、市民への健康情報提供

瀬戸純一（教授）

【論文】

瀬戸純一. 「朝日新聞」記事取消し事件を考える. メディアと情報資源. 2016, Vol.22, No2, p.49-65.

【研究テーマ】

マスメディア, ジャーナリズム

塚本美恵子（教授）

【論文】

塚本美恵子. “子どもの描く「雪だるま」から見る文化の影響—在日ブラジル人学校とブラジル日系学校での視聴調査から”. メディアと情報資源. 2016, Vol.22, No.2, p.11-22.

塚本美恵子. 2015.9. “映像記憶に見られる文化の影響—発達段階による変化の検証—”. メディアと情報資源. 2015, Vol.22, No.1, p.9-17.

【学会発表】

塚本美恵子. “映像視聴に見られる文化の影響—南米につながる子どもたちと、本国の子どもたちへの視聴調査から—”. 日本比較教育学会第 51 回大会, 宇都宮大学. 2015-06. 第 51 回大会発表要旨集録. p.71.

塚本美恵子. “ブラジルの子どもたちは雪だるまをどう描いたか—ブラジルの日系小学校での視聴調査から—”. 異文化間教育学会第 36 回大会, 千葉大学. 2015-06. 第 35 回大会発表抄録. p.142-143.

塚本美恵子, “子どもの映像視聴に見られる文化の影響—発達段階の検証—”, 日本教育工学会研究会, 広島大学, 2015-05, 日本教育工学会研究報告書 (JSET 15-2 p.33-36.)

【研究テーマ】

異文化間教育、映像メディアと教育、地域の情報発信

寺嶋秀美 (准教授)

【研究テーマ】

コンピュータ・ネットワーク、情報システム

杜 正文 (教授)

【研究テーマ】

クラウドコンピューティングと情報セキュリティ

野村正弘 (教授)

【論文】

野村正弘・井上智史・住田功太郎・宇梶勝雄・白石行広, “極微小資料の光学顕微鏡撮影による3次元デジタルアーカイブ化—中間報告—”, メディアと情報資源, 2015, Vol.22, No.1, p.39-46.

松島義章・田中源吾・千葉崇・工藤雄一郎・金子稔・石川博行・野村正弘・杉原重夫・増淵和夫, “東京湾西岸, 平潟湾における縄文海進による環境の変遷”, 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), 2016, Vol.43, p.1-27. (神奈川県立生命の星地球博物館).

【学会発表】

野村正弘・井上智史・住田功太郎・宇梶勝雄・白石行広, “極微小資料の光学顕微鏡撮影による3次元デジタルアーカイブ化—中間報告—”, 第22回日本教育メディア学会年次大会, 日本大学, 2015-10-18.

金子 稔・野村正弘・田中源吾, “微化石を使った地学部の指導”, 日本古生物学会 2015 年年会, 産業総合技術研究所, 2015-06-27.

【講演】

野村正弘, “学校における情報”, 2015 年度 学校事務職員向研修講座 (情報分野) (埼玉県公立小中学校事務職員研究協議会主催・飯能市), 2016-01-9.

野村正弘, “地球—過去と未来—”, 大学を体験しよう! 大学授業体験と内地進学体験 (放送大学主催・沖縄県石垣市), 2016-02-20.

【研究テーマ】

博物館の展示・研究・教育, 教育と情報, 地域の自然

間島貞幸（准教授）

【論文】

オリゼミⅡ「映像スタジオ実習」の紹介と課題. メディアと情報資源. 2015, Vol.22, p43-51.

【研究テーマ】

映像制作

丸山裕孝（教授）

【その他】

丸山裕孝. 「ゼミナール」ゼミ論必須に向けた準備. 第1回文化情報学研究所研究会（授業研究）. 駿河台大学メディア情報学部研究所紀要, メディアと情報資源, 文化情報学研究所 2015 年度報告研究会報告. 2016, Vol.21, No.2, p.75.

【研究テーマ】

金属工芸、現代美術、インタラクティブメディア

村越一哲（教授）

【書評】

村越一哲. Fabian Drixler, Mabiki Infanticide and Population Growth in Eastern Japan, 1660-1950. メディアと情報資源. 2015, Vol.22, No.1, p.53-55.

【研究テーマ】

近代における mortality と女性労働、江戸時代の武士人口と官僚制、インターネット上での記録史料情報の共有化

本池巧（教授）

【論文】

本池巧. 電子書籍を用いたユビキタスラーニングシステムの構築. メディアと情報資源. 2016, Vol.22, No.2, p.35-48.

【研究テーマ】

非線形動力学、フィジカルコンピューティング、モバイルコンピューティング、数式処理システム、e ラーニング